

## 2019 年度 茨城県グローバル人材育成プログラム（中・長期）募集要項

### 1 事業概要

医療の技術革新は日進月歩であり、地域医療においてもワールドスタンダードの医療提供に向けて若い時期から国際的な環境の中で研鑽を積むという経験は極めて重要であります。医師キャリアアップ支援事業の一環として、高い倫理観と地域医療への使命感を持った若手医師を欧米等の医療現場へ派遣することにより、国際感覚・高度な技術を習得した優秀な人材を育成し、地域医療水準の高度化を図るものとします。

### 2 対象者

以下の条件を満たし、所属する病院長の推薦を受けた者とします。

- ・ 県内外の医療機関に勤務する医師免許取得後概ね10年程度の医師
- ・ 研修先において、研修を行うに必要とされる英語等の語学力を有する者
- ・ 海外の医療現場に興味を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲を持って研修に取組み、研修終了後の翌年度から3年間は県内医療機関で確実に勤務に従事できる者

※ 毎年度、勤務先確認の照会を実施予定

- ・ 平成31年度（2019年度）内に派遣決定され、尚且つ年度内に研修を開始し、2年以内に研修修了できる者

### 3 研修内容

海外の医療機関（大学を含む）において臨床または研究を行うことを目的とする。

※ 留学も対象とし、研究については研修修了後の臨床に役立つものであること。

### 4 募集人員

3名程度（予算の範囲に応じて）

### 5 海外研修期間

1ヶ月以上2年以内

### 6 派遣費用等

- （1） 海外研修のための経費として以下の費用を筑波大学より支給します。なお、不足分は自己負担となります。

渡航費（実費（最大30万円））、研修・滞在費（日額1万円）

ただし、渡航費及び研修・滞在費の合計額は350万円を上限とします。

- （2） 海外研修期間中の給与や研修先からの報酬の受取等については、勤務病院の規定によるものとします。

## 7 申請方法

(1) 海外研修を希望する者は、以下の必要書類を筑波大学附属病院国際医療センターに提出して下さい。

- ・ 申請書 (所定の書式)
- ・ 履歴書 (所定の書式)
- ・ 論文、学会発表等の実績一覧 (所定の書式)
- ・ 研修先での研修実施計画 (様式任意)
- ・ 所属する病院長からの推薦書 (様式任意)
  - \* 筑波大学附属病院においては診療科長・養成コース長からの推薦書
  - 推薦者の連絡先を必ず記載すること (メールアドレス, 住所等)
- ・ 研修先からの招聘状及びその和訳
- ・ 業務従事証明書 (所定の様式)

(2) 提出部数 各 1 部

(3) 提出期限

2019年 7月 4日 (木) 必着

封書に「平成31年度茨城県グローバル人材育成プログラム申請書類」と朱書して下さい。

## 8 海外研修生の決定

筑波大学附属病院若手医師等派遣審査委員会と茨城県地域医療支援センターが申請書等の書類審査及び面接の上、海外研修生を決定します。

## 9 海外研修修了後

(1) 報告書の提出等

①海外研修終了後1月以内に、以下の内容を記載した和文報告書(2000字程度)を筑波大学附属病院国際医療センターへ必ず提出して下さい。

- ・ 参加したプログラムの内容及び趣旨
- ・ 海外研修で学んだことを茨城県の地域医療水準の高度化にいかにかかすか
- ・ 海外生活に関して、今後本プログラムにて海外研修する者が参考になる情報

②県内の若手医師等を対象とした体験報告におけるロールモデルの提供。

(2) 帰国後の勤務先の確認

- ・ 海外研修を終了した者は、県内医療機関で3年間勤務することを要件としているため、毎年度勤務先の確認を実施
- ・ 帰国後の勤務先が変更し、応募者本人と連絡がとれない場合、推薦者に連絡予定

#### 1 0 海外研修費用の返還を求める場合の取り扱い

本プログラムは、茨城県において国際感覚・高度な技術を習得した優秀な人材を育成することにより地域医療水準の高度化を図ることを目的としています。このため、海外研修終了後の翌年度から3年間を経過しない期間に茨城県内の医療機関から離職した場合、筑波大学は海外研修に際して支給した費用の全額を返還させることができるものとします。

#### 1 1 その他

不明な点等は、筑波大学附属病院国際医療センターまでご照会下さい。

問い合わせ先 筑波大学附属病院 国際医療センター E-mail : <a href="mailto:opima@un.tsukuba.ac.jp">opima@un.tsukuba.ac.jp</a> TEL.FAX: 029-853-3575
---